



AA日本ニューズレター

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱916

AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス TEL 03-3590-5377
〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F FAX 03-3590-5419

No.62

第2回全国評議会報告

平成9年2月9、10、11日の3日間、第2回全国評議会は東京の深川で開催されました。評議員は北海道、東北、甲信越、中部北陸、関西、中国四国、九州沖縄から各2名と、関東が6名...合計20名です。今年から評議員になった人が10名。去年からの人が10名で、全員出席でした。それに常任理事7名(1名欠) J S O 2名を加えた合計29名が議決権のある人で、何かを決めるために必要な3分の2は20名であります。WSM評議員1名は発言権はありますが議決権はありません。

議長は後期の評議員からくじ引きで選ばれます。今回は九州沖縄の評議員に当たりました。議長にも議決権があります。

常任理事会には財務、広報、出版、病院施設、評議会、企画、BOXの7つの委員会があります。2日目の午後は、これらの委員会に見合った評議会委員会(BOXはなし、評議会は議事委員会)に分かれている話し合いがされたり、こういうことをしたいので、いくら予算がほしいというような細かな議論があります。そこで、初日に、前もって前期評議員の10名は2名ずつ、各委員会にクジ引きで分けられます。わたしは財務が当たってしまって閉口いたしました(しかし、2日目の午後、財務担当理事の方から予算の中身について細かく話を聞くことができ、とてもよかったと思いました。なまじっか自分で得意だと思っているとこでしたら、しゃべりたいのが先に立って、人の話を熱心に聞くなんてことは、わたしにはとてもできなかったでしょうから。幸運でした)。

さて、1日目の昼から去年の秋ニューヨークで開かれたワールドサービスミーティングの報告が、岡崎さんと湯浅さんからありました。内容はこのニューズレターの前号にもものっていますのでここでは省きます。WSM負担金の全額でニューヨークくんだりまで2人が10日間も行けるはずがないので、財務理事に聞きましたら、航空費用や滞在費の足りない分はあちらの

常任理事会にもってもらっているんだそうであります。また、今年の3月20日、21日にはアジア・オセアニア・サービス・ミーティングというのがニュージーランドであります。日本、韓国、ホンコン、オーストラリア、ニュージーランドなど、参加国の中では日本はそれこそ兄貴株です。ニューヨークやニュージーランドで特別なことをやってるではありません。わたしたちのミーティングと同じ。どうすれば苦しんでいるアルコールにわたしたちのメッセージを伝えていけるのか、そのための方法をみんなで考え、もっと広げていこうということです。こちらは3人行くのにたった60万円の予算しかないので、出席する3人は安い運賃の便をやっと見つけて、滞在はニュージーランドの友人たちの家にそれぞれ泊めてもらうのだそうです。どうも日本のAAはまだ自立できていないようですね。経済大国ということになっているらしいんですけど。

1日目の午後3時から午後10時は、後期評議員10名が受け持ったテーマについてそれぞれの地域の実態を報告しました。テーマと担当は：

AAの書籍をメンバーの回復にどう役立てているか(東北)

アノニマスの大切さについてメンバーの間で話し合われているか(関東)

オープン・ミーティングとクローズドとの違いをどう理解しているか(中国四国)

新しいグループの発足のときどんな点に留意しているか(関東)

AAメンバーに卒業があると思うか(中部北陸)
サービスにかかわるメンバーは不足していないか(北海道)

スポンサーシップを理解して実際の生活の中で役立てているか(九州)

ステップ4・5の大切さがメンバー間にのべ伝えられているか(甲信越/長野)

伝統7と献金の関連性についてメンバーが理解しているか(関東)

メッセージが十分に届けられているか(関西)

一人の持ち時間25分で質疑も含めてということですから、かけ足で、それでも時間が超過しがちなのはしかたありませんね。

以下、おおざっぱな感想ですが、一つはどこでも似たようなことで困っていたり、悩んでいたたりしているなということ。これは大都市圏もほかの地方も同じです。ひとつひとつにふれてみます。

書籍を読む人が少ない。

プライバシーが守られることが保証されていることについて義務感をもちたい。

場合によってクローズドがオープンに切り替えられることがある。

消えてしまうグループがある。前からあるグループのしっかりした手助けが欠かせない。12の伝統の大切さの認識が少しずつ高まってきている。

数年のソーバーが続いたあと、あるいは役割を終えたのをきっかけに離れていくメンバーがいる。いつも何らかのかたちでサービスに関わっていることが大切。

不足している。一人がいくつもの役を引き受けているケースも多い。

スポンサーシップを役立てているメンバーはほとんどいない。

4・5はやはり難しい壁である。ここで立ち止まって前へ行けないメンバーも多い。

ミーティングで集められた金はどう使われているのかという情報をきちんと伝えることが大切。ミーティング直後、会計係が「きょうの献金はいくらでした。ありがとうございました」と言う。この習慣はとてもよい結果をもたらした。

十分ではない。アルコールは病院のなかだけにしているのではないことをしっかり知ること大切だと思う。

・最近わたしたちの地域でもいろいろ話し合われている。ほかの病気の人のミーティング参加について、1958年にビル・Wが“アルコール以外の問題”という小文を書いています。岡崎理事からそれが紹介され、早速印刷されて配られることになりました。明快な見解で、あらためてわたしはビル・Wはすごい人だと思いました。

2日目の朝9時～12時は、常任理事からの報告、新規事業案の提出、説明でした。

常任理事会の報告 山宮理事

評議会(常任理事の改選、サービスハンドブック作成) 杉之尾理事

出版(ビッグブックの改訳ほか) 青山理事

病院施設(矯正施設委員会、メッセージ活動の活性化) 池田理事

広報(メンバーシップ調査他) 岡崎理事

企画(評議会開催地、J S Oの体制など) 今井理事

B O X 9 1 6(活動計画案など) 山宮理事

財務(96年報告、97年予算案) 奥村理事

以下いくつか拾って書きます。

- ・理事の改選は全体サービスの奥村さんと西日本の杉之尾さんが今年一杯で任期満了になり、新理事2名選出の選挙管理委員会を関西地域にお願いしたこと。
- ・サービスハンドブックは去年承認されたことで、製作中であり、間もなくできあがること。
- ・ビッグブックの改訳がきまったこと(すすめ方は常任理事会に一任)
- ・矯正施設へのメッセージがとても必要であること。しかし日本では法律の関係でなかなかむずかしいこと。
- ・評議会の開催地を東京以外の場所でやる案が出されたが、おそらく金の問題で(旅費の関係でよけいかる)実現しないと思われること。
- ・運営基金積み立て金はJ S Oが活動するための最低の金の3カ月分である(関西の震災のようなことがあって、献金収入が大幅に減るときに備える)。この金が600万円ぐらい貯まったとき、オフィスの移転がようやく考えられるようになる。今の事務所のせまさは、たとえばB O 9 1 6の発送など床でやっているような状態である。人数もパート、アルバイトさん頼りが現実。
- ・メンバーシップ調査については、なぜこんな調査をするのかという意見がありました。日本のAAの輪を広げていくためのベースになるという趣旨で、個人のプライバシーには十分注意した方法、内容で、近く実施されます。

2日目の午後1時から午後11時は1時～6時が評議会委員会の分科会、夜の7時～11時がその報告と質疑、採決で、まったくくたびれます。ここで予算請求もあるし、各委員会の報告も。慣れていないせいもありまじょうが、時間が足りません。その分、最終日の評議員からの提言— 全体サービスを伝えていく評議員の責任とは、グループ運営とメッセージのあり方、AAのロゴマークやグッズなどのことを、全国の問題点として分かち合うところあたり、どうも中身が薄くなったようにわたしは感じました。来年はもっといろいろな点でよくなるでしょう。

以上

甲信越新潟地域評議員 高田

第2回全国評議会議事速報

評議会書記局

1. ランチ・ミーティングから
 - * 議長選出：くじ引きの結果、九州沖縄地域評議員が議長に就任。副議長は常任理事会議長。
 - * 前期評議員の評議会委員会の所属：くじ引きにて決定。
2. 全体会議 . から
 - * WSM評議員の任期は4年。発言権の承認。
 - * 常任理事全員の信任。
3. 全体会議 . から
 - * AOSM, WSM報告
4. 全体会議 . から
 - * 与えられたテーマにそった地域の実態の報告
5. 全体会議 V .
 - * 常任理事会報告と活動計画
6. 採択事項
 - * 出版：「今日一日だけ」は在庫が切れた時点で再販ストップ。「回復への道パート」の作成準備。「ピ

- ッグブック」改訳案可決。準備作業は常任理事会にゆだねる。
- * 病院施設：矯正関連へメッセージ資料作成を確認。
- * 広報：メンバーシップ調査実施。
- * 議事：サービスガイドを早急に発行。来年度の評議会は2月6日～8日東京にて開催。テーマは「原点を見つめて 一グループの良心を全国へ...全体サービス構成を確かなものに」。各地域もち帰りの検討議題として 分担金について 評議員任期の検討。25周年集会開催決定にともない、開催地として立候補するか 関東甲信越地域としての評議員選出基盤については関東甲信越地域集会にて検討を依頼。
- * 財務：96年度決算報告および97年度予算案採択承認（運営基金積立を設定し、JSOの緊急事態と将来の業務拡張に備えることも含め）。

AAメンバーシップ調査のアンケートにご協力を

メンバーシップ調査委員会 今井

今回、AAのメンバーシップ調査をすることが評議会にて採択されました。常任理事会の広報委員会が窓口になります。

けれどもAAは無名であり、“AAがしないこと”として、調査、あるいは調査への協力はしないということが、パンフレットにも書いてあります。また、外部の団体が行なう調査研究活動、およびその後援は、AAの伝統10、11、12の立場から協力ができないことも、よく理解されていることと思います。

ではいったいどんな目的から今回アンケートをすることになったのでしょうか。

AAは、医療分野、保健所、福祉事務所などの専門機関の方々にはその存在をよく知っていただいています。でも、全国にAAメンバーがどれくらいいるのか、女性メンバーはどのくらいの割合なのか、若い人たちは多いのか、といった質問を受けても、みんな自分の知る範囲でしか答えることができません。また、「AAは単身の人向きで、家族のある人には向かない」とか「どん底を体験した人しかAAで回復できない」とか言われた時代もありましたが、では現実はどうなの

かということ、印象で話す以外、正確にお伝えすることはできません。自分たちがAAの現状を知っていれば、メッセージ活動においても、新しい人たちを迎えるにあたって、もっと手助けができるようになるでしょう。

AAはひとりひとりの無名性を厳格に守り、尊重していく責任があります。同時に、AAの回復のプログラムをより多くの人に知ってもらい責任もあります。

今回のアンケートによるメンバーシップ調査は、わたしたちが今後ステップ12活動をする上で参考にしながら生かしていくこと、そしてAAについてのより正確な情報を専門家や一般の人たちに届けることで、AAへの偏見や誤解を取り除き、信頼関係を築き上げ、さらに利用していただくことを目的にしています。

アンケートについてのQ&A

Q：アンケートは必ず協力しなければならないのですか？

A：協力する、しないは、まったく自由です。

Q：どういったメンバーがアンケートに答えるのですか？

か？

A：自分がAAメンバーだと思ってAAグループに参加している人全員が対象になります。病院/施設に入院/入所中でも、自分がAAのメンバーだと思って参加している人はAAメンバーです。

Q：アンケート回答の方法や期間は？

A：5月25日から6月7日の2週間で記入していただきます。回答はひとり1回のみでお願いします。プライバシー保護のため、無記名でご記入いただき、封筒に入れ、封を閉じた上でグループの担当者にお渡しください。直接J S O内広報委員会宛にお送りいただいても結構ですが、その場合はお手数ですが、ご自分で切手をはってください。記入は上記の期間内ですが、回収は6月いっぱいです。

Q：アンケート用紙はどこで手に入るのですか？

A：5月初旬に全国の代議員に発送します。調査期間中に参加したミーティング場のどこにでも用意してあります。その間、ミーティングに行けない、あるいは、近くにミーティング場がないという人は、J S Oに直接連絡してください。アンケート用紙を郵送します。

アンケートの回答についての詳しい説明書がグループ代議員に届いていますので、わからないことがありましたら、代議員に直接たずねてください。

Q：アンケートの集計と報告は？ いったいそのデータをどこが責任をもって保管するのですか？

A：常任理事会広報委員会が責任をもちます。2カ月で集計作業を行ない、9月にはみなさまに報告できる予定です。

全国のAAメンバーのみなさま、どうぞご協力をお願い申し上げます。

AA日本サービスガイド (SG) について

J S H B (日本サービスハンドブック) 小委員会

第1回評議会におきまして、「日本に合ったサービスマニュアルを」という命題を受け、各地域から出された15名のJ S H B小委員会⇒常任理事会⇒第2回全国評議会でのそれぞれの論議を経て、ここに「AA日本サービスガイド」を皆様に提示できますことを担当としてうれしく思います。関係各位のご協力に心から感謝いたします。

「SG」の特徴を簡単に列記しますと、
随所にメンバーによるオリジナルのイラスト入り
地区・地域の複数の図解でみる成長過程
全国的に呼称がバラバラだった「地区についての項

目」を統一的に提案
全体サービス構成図を横書きに
など、各地域で微妙に異なる呼称や役割・規模について、それを統一的に表現することはそれなりに難しい作業でしたが、“絵で見る12の伝統”“絵で見る12の概念”と同様に、全国共通の認識をもってサービス活動にご利用いただけたら幸いです。

今後の日程は、校正等をへて、4月下旬から5月下旬に向けて皆様のお手元に届けられるよう作業を進めています。各グループには1部無料配布。頒布価格は600円と評議会で承認されました。

伝統6

AAグループはいかなる関係ある施設にも、外部の企業に対しても、保証や融資やAAの名前を借すこととしてはならない。会種や所有権や名前の問題が、あれこれ大事な目的からそれさせる恐れがあるからである。



あらゆる種類の目的、動機、野心が
ひそんでいるのが分かった……
……もしAAの名がそれらに
汚されてしまったら

お知らせ

AAのホームページのアクセス先が変更になりました。以下のとおりです。

<http://www.justnet.or.jp/home/serenity/WELCOME.HTM>